

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年6月22日(2017.6.22)

【公開番号】特開2016-135810(P2016-135810A)

【公開日】平成28年7月28日(2016.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-045

【出願番号】特願2016-86986(P2016-86986)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/5575 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 47/06 (2006.01)

A 6 1 K 47/14 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/5575

A 6 1 P 3/04

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 47/06

A 6 1 K 47/14

A 6 1 K 47/10

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月9日(2017.5.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被験体において体脂肪を減少させる方法であって、前記方法は前記被験体にラタノプロスト、脂肪酸エステル、および軟膏基剤を含む組成物を投与する工程を含む、前記方法。

【請求項2】

前記被験体において体脂肪を局部的に減少させる、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記被験体において皮下脂肪を減少させる、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記組成物が、ラタノプロスト、脂肪酸エステル、および軟膏基剤から本質的に成る、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記ラタノプロストの濃度が、約0.001% (w/w) ~ 約1% (w/w) (両端含む)である、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記ラタノプロストの濃度が、約0.01% (w/w) ~ 約0.5% (w/w) (両端含む)である、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

前記脂肪酸エステルの濃度が、約1% (w/w) ~ 約20% (w/w) (両端含む)である、請求項1に記載の方法。

【請求項 8】

前記脂肪酸エステルの濃度が、約 1 % (w / w) ~ 約 1 0 % (w / w) (両端含む)である、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記脂肪酸エステルの濃度が、約 1 % (w / w) ~ 約 2 0 % (w / w) (両端含む)である、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 10】

前記脂肪酸エステルの濃度が、約 1 % (w / w) ~ 約 1 0 % (w / w) (両端含む)である、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記軟膏基剤の濃度が、約 7 0 % (w / w) ~ 約 9 9 % (w / w) (両端含む)である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

前記軟膏基剤の濃度が、約 7 0 % (w / w) ~ 約 9 9 % (w / w) (両端含む)である、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 13】

前記組成物が保存剤をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 14】

前記保存剤がクロロブタノールである、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

前記組成物が無菌である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 16】

前記ラタノプロストの濃度が約 0 . 0 0 1 % (w / w) ~ 約 1 % (w / w) (両端含む)であり、前記脂肪酸エステルの濃度が約 1 % (w / w) ~ 約 1 0 % (w / w) (両端含む)であり、前記軟膏基剤の濃度が約 7 0 % (w / w) ~ 約 9 9 % (w / w) (両端含む)である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 17】

前記投与工程が、約1日1回行われる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 18】

前記投与工程が、前記組成物を顔部、下顎、頸部、腕部、腹部、胸郭部、胸部、臀部 (buttocks)、腰部 (hips)、大腿部、脚部、および/または膝に投与することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 19】

前記投与工程が、前記組成物を眼瞼に投与することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 20】

前記投与工程が、前記組成物をオトガイ下部に投与することを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 21】

前記ラタノプロストの濃度が、約 0 . 0 3 % (w / w) ~ 約 0 . 1 % (w / w) (両端含む)である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 22】

前記組成物が、ラタノプロスト、脂肪酸エステル、および軟膏基剤から本質的に成る、請求項 21 に記載の方法。

【請求項 23】

前記ラタノプロストの濃度が、約 0 . 0 3 % (w / w) ~ 約 0 . 1 % (w / w) (両端含む)である、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 24】

前記組成物が、ラタノプロスト、脂肪酸エステル、および軟膏基剤から本質的に成る、請求項 23 に記載の方法。

【請求項 25】

前記ラタノプロストの濃度が、約0.1% (w/w)である、請求項1に記載の方法。

【請求項26】

前記組成物が、ラタノプロスト、脂肪酸エステル、および軟膏基剤から本質的に成る、
請求項25に記載の方法。

【請求項27】

前記ラタノプロストの濃度が、約0.1% (w/w)である、請求項16に記載の方法

。

【請求項28】

前記組成物が、ラタノプロスト、脂肪酸エステル、および軟膏基剤から本質的に成る、
請求項27に記載の方法。